

平成 29 年度 施策評価表

施策	0304	青少年の健全育成	施策推進担当部	教育委員会
施策の方針	地域ぐるみで子育てができるよう、家庭・学校・地域の連携や相談機能の強化を図る。また、青少年の団体活動や子供会活動を促進する。			

【DO（実施）】
基本計画における目標値

指標名	単位	基準値 (H26)	H28目標値	H29目標値	H30目標値	H31目標値	H32目標値	H28年度	
			H28実績値	H29実績値	H30実績値	H31実績値	H32実績値	達成率	進捗率
① 青少年健全育成協議会の主催行事への年間参加者数	人	14,148	15,800 14,117	15,850	15,900	15,950	16,000	89.3%	88.2%
② 補導活動への年間延べ参加者数	人	859	890 920	920	950	980	1,000	103.4%	92.0%
③ 家庭教育に関する年間相談件数	件	9,929	11,300 11,582	11,500	11,700	11,900	12,000	102.5%	96.5%
④ 子ども会加入率	%	23	23 20	24	25	25	25	87.0%	80.0%
⑤									

施策達成状況の説明

- ①屋外行事での天候不良による中止もあり目標を達成できなかった。
- ②各地区役員の指導により活動者数は目標を達成した。
- ③相談しやすい環境を整え相談件数は目標を達成した。
- ④入学式での加入呼びかけ等は行っているが目標値を達成できなかった。

施策経費

(単位:千円)		H28年度 決算	H29年度 予算	H30年度 見込	特記事項
内訳	事業費	7,531	12,465	12,639	
	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	4	23	0	
	一般財源	7,527	12,442	12,639	
人件費	12,958	13,791	-		
フルコスト	20,489	26,256	-		

施策の概要

030401	家庭環境の充実	親子で参加できるものづくりや子育てに関する講座を開催するとともに、青少年健全育成協議会、PTAや学校などと積極的に連携し、「家庭の日」などを通じて、親子の絆が深まるような環境づくりに努めます。
030402	家庭・学校・地域の連携強化	それぞれの地域が特色を活かしながら、地域ぐるみで子育てができるよう、家庭、学校、地域の連携を強化し、それぞれの行事に協働して取り組むとともに、「ココロねっこ運動」を推進します。また、青少年の健全育成、非行・事故防止についての広報啓発キャラバンを地域と協働して実施するとともに、万引きや自転車盗難等の犯罪の未然防止にも努めます。
030403	相談体制の強化	青少年の健全育成に関する相談業務について、少年センター、民生委員児童委員協議会連合会、地域子育て支援センター等が情報共有などの連携を密に行い、相談機能の強化を図ります。
030404	青少年の団体活動や体験活動の充実	団体活動を通じて社会の一員としての自覚を高めるとともに、仲間づくりを促進するため、各種サークルの育成及び活動を支援します。また、実体験の中で豊かな人間性や自立心を培うため、野外での体験型こども教室や、子ども科学館での実験教室などを充実します。その他、各団体や地域における指導者の育成・確保に努めます。
030405	子ども会活動の活性化	子ども会の活動を、安全で楽しく、魅力あるものにするため、子ども会育成連合会と連携し、保護者や子どもに対する研修会を実施するとともに、活動内容の広報や加入促進のためのPR活動を行います。また、各子ども会が情報交換できる場を設け、事業内容や課題等の共有を促進します。

【CHECK (評価)】

<p>施策を達成する上での問題点・課題</p>	<p>青少年健全育成連絡協議会は、市内14地区校区で様々な交流行事を開催している。会員の高齢化による参加人数の減少が見受けられ、また屋外活動への参加は天候に左右される面もある。行事のマンネリ化を生まないよう、企画段階からの行事内容へのアドバイス等が必要となってくる。</p> <p>自転車事故、盗難は毎年減少傾向にあり、自転車マナーアップ運動にも多くの方々の参加を得られている。少年非行も毎年減少しているが、再犯率の高さと低年齢化が課題である。補導委員に対して情報提供や研修の機会を提供する必要がある。</p> <p>相談業務に関しては、多くの相談窓口が設置されており相談しやすい環境が整っている。今後は相談業務担当者の更なるスキルアップと相談業務担当者間の情報交換、共有が重要である。</p> <p>子ども会加入率は年々減少傾向にあり、回復の兆しが見られない。原因は、保護者が会の役員を敬遠することに加え、そもそも町内会にすら入らない世帯が増えてきている等の理由であり、抜本的な解決策を見いだせない状況である。</p>
-------------------------	--

【ACTION (改善・改革)】

<p>問題点・課題を踏まえた施策構成事務事業の改善・改革や新規事業についての方</p>	<p>平成28年10月に実施予定であった、「秋の自転車マナーアップ運動」は、台風の接近により中止した。屋外での啓発活動は、天候に左右されることが多いため、平成29年度からは予備日を設けるなど、実施に向けて改善を行っている。</p> <p>子ども会の加入率向上と活動の活性化を図るため、平成29年度から「大村市子ども会加入率向上対策協議会」を立ち上げた。この協議会は、関係団体の代表者（子ども会育成連合会、公民館連絡協議会、青少年健全育成連絡協議会など6団体）と市職員（部長級職員2名）で構成される組織であり、関係者からの意見を聴取し、改善策について一定の方向性を導き出すこととしている。</p>
---	---

平成30年度新規事業

事業名 (仮称)	担当課	H30年度見込	対象・事業概要など
		事業費	
1			
2			
3			
4			
5			
		0	

【評価調整委員会意見】

1	施策推進担当部意見のとおり	
<p>《特記事項》</p>		

【最終評価 (都市経営戦略会議)】

1	評価調整委員会意見のとおり	
<p>《特記事項》</p>		